

碩心

社団法人 日本詩吟学院 岳風会 認可
神奈川 碩心会 発行

15年9月現在 葉山地区 逗子・大船地区 (合計)	会員数 157名 131名 288名)	15年9月 (361号) 発行者 加藤 岳 洵 磯村 岳 朋 鎌倉市浄明寺1-6-24 TEL・FAX 0467-25-1850
------------------------------------	------------------------------	--

行事予定

- 横須賀第二地区吟道大会
日時・10月5日(日) 9時5分開場
場所・葉山町福祉文化会館
 - 総伝会発足20周年大会
日時・10月12日(日) 9時より
場所・葉山町福祉文化会館
 - 碩心会皆伝会
日時・10月13日(祭) 10時より
場所・レイ・ウエル鎌倉
 - 全国吟道大会
日時・10月25日(土)〜28日(火)
場所・仙台サンプラザ
 - 鎌倉市詩吟舞連盟発表大会
日時・10月26日(日) 10時より
場所・レイ・ウエル鎌倉
 - 逗子市詩吟舞連盟発表大会
日時・11月3日(祭) 9時40分より
場所・逗子市図書館ホール 3F
- お知らせ**
- 総伝会発足20周年大会の吟題
女子合吟『金州城下の作』
男子合吟『自訟』
 - 上席師範に左記のお二人が昇格されました
矢嶋岳悦先生・村田岳瀟先生

平成15年度碩心会総会開催

- 日時・7月13日(日) 13時より
会場・逗子市図書館講座室
- 松井岳篁総務部長より総会成立の宣言があり、平成15年度碩心会総会が開かれた。
- 矢嶋岳悦副会長の開会のことば、内山岳青教務部長の先導による『碩心会の詩』合吟の後、加藤岳洵会長より次のような挨拶があった。
- 一、4年後の碩心会創立70周年に向けて、先輩諸氏の協力を頂きながら編集委員会を設け記念誌の発行を計画したい。
 - 二、教場訪問を7ヶ所実施したが、全ての教場訪問が終わった段階で集大成として碩心会の統一した指導方針を策定したい。指導の目的は吟の研鑽にあるが、教場にあつては和やかな雰囲気が大切であり、指導者はこの点も十分に配慮して貰いたい。
 - 三、永年の吟界での活躍に対して総本部より杉山岳雪・鈴木岳抄両氏に宗佑、加藤岳洵・中村岳郵両氏に宗匠の冠称が授与された。
 - 四、第114回の全国大会で杉山岳雪氏が指導者の部で表彰される。
 - 五、宇都宮岳徳氏(1/1付)・松井岳篁氏他5名(7/1付)が総伝を授与され、新総伝の皆様のお祝いを7/21に予定している。

六、審査代行者の定年制に伴い加藤岳相、千葉岳関両先生が勇退して矢嶋岳悦、上村岳章両氏が新任された。

七、神奈川県本部は四地区 51会で組織され4997名の会員を擁している。碩心会の属する横須賀第2地区は10の会で会員数920名である。

八、神奈川県本部創立50周年記念吟道大会が来年5月29日神奈川県民ホールで予定されている。引続き議長に加藤岳洵会長、書記に磯村岳朋、角田有山が指名され以下の次第に従い議事に入った。

- 各部長 地区長による14年度経過報告
 - 加藤芳岳会計部長による14年度決算報告
 - 宇都宮岳徳監査役による監査報告
 - 松井岳篁総務部長による15年度行事予定
 - 加藤芳岳会計部長による15年度予算案の説明
- が順次行われ、全ての議案が承認された。なお、担当部長より次の報告があった。
- ①来年度から準師範の受審は県本部となる
 - ②来年度の初吟会は1月12日レイウエル兼倉で実施。担当支部は葉山地区
 - ③昨年に引き続き、葉山中学校の『ふれあい講座』を10月30日(木)に実施

教場 訪問

◇風早教場

風早誕生のいきさつ

昭和53年3月2日、元会長根岸岳萃先生の了解により、愛好会として、詩吟を始めました。昭和53年秋には、葉山文化祭に7名の合吟で初出演し、正式に碩心会の風早支部として誕生しました。杉山雪風(当時準師範)が担当指導者となる。昭和56・57・58年、碩心会合吟コンクールで優勝の榮譽に輝きました。支部誕生から早や25年、年を重ねて参りました。毎週木曜日、19時より石川電気店に於て、杉山岳雪先生の御指導により、毎週1回の気の合った者同志が、一つの趣味で時を過ごす幸せをしみじみ感じ乍ら、現在7名の会員で頑張つて居ります。



風早の皆さん
◎印は指導担当者
中村欣司 堤寿風
後藤道岳 ◎杉山雪風
(加藤会長)
(松井副会長)
高橋悦岳 石川岳豊

◇松井教場

松井教場創設は、昭和59年4月1日、横須賀市秋谷にて詩吟活動スタート。当時の会長根岸岳萃先生の紹介が始めでした。会員の協力もあり三か月後には10人位の会員数になった。昭和62年には、教室が3教場と成り、指導者として充実した毎日でした。



松井教場の皆さん
◎印は指導担当者
菊地君山 江原一岳
元泉誠山
草柳武岳
田中景岳 (加藤会長)
菊地平三
高橋陽一 ◎松井篁岳
森暎岳
高見陽風 中山俊岳
高見湘風 中村豊岳

この日は、「吟道精神」の素読、「道灌蓑を借るの図に題す」秋季審査課題吟と、来年の審査課題「梅花」などの練習、個人の好きな吟を聞かせて頂く。入会のきっかけになった話など楽しく時間が過ぎ、帰りは雨に成っていました。

この日は、第二地区大会の出吟題の「新湯に宿す」を素読、先生に続いて2句毎合吟。

アクセントを注意、すぐ直る所は、さすが高段者の多い教場だと思う。合吟の声も素晴らしい。次は、「鎌倉懐古」夏期講座の課題吟で、夏期講座後だったので、皆の勉強の後が見えました。会長との懇談も、時間の過ぎるのが早いナ、と思うほど話が弾んだ。

松井教場、火・土曜日の19時より。よろずやビル2F。指導者松井岳篁。

◇晴誉支部教場

当教場は、昭和58年に故金指萌風先生が、山の根の自宅で発足した。昭和59年1月より逗子A支部金指教場として、山の根会館で教場を開き、昭和63年1月金指萌風先生ご逝去。その後千葉岳関先生が、指導を引き継がれ、教場も六代御前に移り、昭和63年7月、教場を、逗子高齢者センターに移動し、支部名を若葉としました。平成11年9月より、立澤岳晴が指導にあたり、現在に至ります。

平成15年5月、晴誉支部と名称変更致し心機一転、吟道に精進することを申し合わせました。現在、会員10名、毎週火曜日13時より、高齢者センターで、勉強して居ります。尚、不定期にでも行なって居ります。

(立澤岳晴記)

この日は、吟道精神の素読、お口の運動「あ、い、う、え、お、あ、お」。次に「月夜三叉江に舟を浮かぶ」作者高野蘭亭の紹介、通釈、語釈、素読、2句毎の模範吟と、合吟。男性、女性に分かれて合吟。後、会長との懇談に移った。『毎週この日が楽しみです』のコメントが、心に残りました。

晴誉の皆さん

◎印は指導担当者

山王峽泉 佐々木邦岳

高橋俊山 嵐田光岳

中尾邦風 (加藤会長)

宗環山

渡辺紅風

矢沢岳峰



◇東伏見教場

東伏見支部10年の歩み

平成5年3月沼田義岳(当時の雅号)の御指導の下、下山口支部の一員として、5名で発足しました。平成7年8月下山口支部から分かれ、東伏見支部として認められ活動してきました。本年は、丁度10周年に当たります。現在の活動状況は、会員数15名(うち1名

休会)、週1回の稽古日中心に沼田岳義先生の御指導の下、碩心会温習会(春秋2回)各大会に独吟、合吟、連吟に出吟し、支部内の親睦研鑽の会合(観桜会、月見会、カラオケ会、忘年会)と旅行など、広く東伏見台の文化活動の中心に成っております。

稽古日は、毎週土曜日、19時より東伏見台集会所です。

(森合嘯風・山田量風記)

当日は、東伏見の愛唱吟「春日の作」で始まった。7段の課題吟「筑前城下の作」奥伝審査課題「大楠公」「病に沈みし時の歌」など、受審者の稽古、次いで新体詩「枯野の旅」これは東伏見吟行会(暮坂峠)で合吟する為の練習だそうです、大変楽しそうでした。

東伏見の皆さん

◎印は指導担当者

山本新風

稲村雄風 森合嘯風

山之口浩風

山田量風

大内萃風 (加藤会長)

有友嘉山

鈴木聡山

佐藤英泉

由谷悦泉

◎沼田岳義

寺岡栄風 (松井副会長)

大野祥山



碩心会夏期吟道講座を受講して

逗子A 鈴木江岳

小雨降る肌寒い7月6日、図書館ホールにて、碩心会夏期吟道講座が開催されました。今年は、青嵐会18名、誠吟会19名、全合計173名の受講者で会場は満席でした。

予定通り内山岳青教務部長の進行で、講師の先生方の紹介、加藤岳洵会長の挨拶、今年は、鈴木岳萩先生をお招きし、伝統ある岳風の吟法を研鑽する様にとお話されました。

先生方の熱心な講義に、精一杯聞き漏らさぬよう、緊張の連続でした。先ず素読、言葉と節、声は年を取らない。口を開けて、喉を開く、アクセントに困った時、素読に戻る、「遊び」を入れる等、研鑽する様に努力したいと思えました。時間通り矢嶋岳悦副会長の挨拶にて無事終了。又第7回の講座を楽しみにして居ります。

横須賀第二地区吟行会に参加して

8月31日曇り逗子市役所前に、参加者47名が、元気に集まりました。鈴木岳潮地区長のお見送りで、バスは予定通り出発、諏訪に向

け走行中、早くも車内では「辞世の短歌」の合吟練習。ガイドさんも『すごい迫力ですね』と皆の吟声にびっくりしていました。外は雨が本降りになり大雨の中、駐車場から岳風記念館への移動は、皆びっしょり、渡辺岳綱先生は、慰めに「昨日、私が悪い事をしました。申し訳ございません。」と笑わせて、祖宗範の遺品の説明をして頂いた。その後菅野岳蓉先生が、恩師木村岳風先生のお話を、感慨深く語られた。雨も小降りになり、地藏寺山へ墓参、地藏寺で合吟し、松本城へ、先程の雨が、嘘の様でした。浅間温泉泊。2日目は、夏の日ざしになり、美ヶ原高原美術館に寄り帰途に着く。この吟行会は、大雨と共に思い出に残るでしょう。楽しかった。 岳朋記

俳句

岩崎 岳恵

赤米を炊く焔とろとろ登呂の秋

糶たのなき魚臭の港秋の風

屋号守をみなの日日鯛雲

佐久間 岳爽

馬拉ソンの走者に秋の影法師

根こそぎに藻を打ち上げて野分晴

草匂ふサイロへ星の流れけり

○入会 (9月1日付け)

410 太田 寿子 茅ヶ崎市松風台7・4

(堀内F) ☎0467・52・2081

411 沼田美千代 葉山町下山口1526

(堀内F) ☎046・875・3452

412 鈴木智恵子 葉山町堀内1735・116

(堀内F) ☎046・875・0628

413 吉田千代江 逗子市新宿3・11・22

(逗子B) ☎046・871・2491

414 小島 博夫 逗子市久木4・1・1

メゾン逗子201

(逗子A) ☎090・9296・5826

紹介者 菊地平三

○退会 (9月1日付け)

31 綱川 岳邦 (下山口)

408 竹内善次郎 (逗子B)

○住所変更

174 福本 香岳 逗子市山の根1・7・8

(真澄) 〒249・0002 ☎は同じ